

刀 林

題字 故前田和二郎名誉教授
発行所
東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部
外科学教室同窓会(刀林会)
発行人 北島政樹

刀林会理事長就任のご挨拶



国際医療福祉大学
副理事長 名誉学長
北島 政樹 (45回)

この度は高貴ある歴史と伝統の刀林会理事長に理事会からご推薦賜り、誠に光栄に存知ると同時に責任の重さを感じております。

長い歴史の中で諸先輩の多大な努力、実績を継承し、今後の発展に微力ながら貢献出来ればと思っております。

刀林会理事長として外科学教室同窓会会則の冒頭に「我ら外科学教室の精神」を常に心に留め、慶應義塾大学医学部外科学教室における16年間の在任中に培ってきた教室、病院、医学部の運営の経験と其の間構築してきた人脈を活用したいと考えております。



刀林会理事長退任のご挨拶



吉野 肇一 (44回)

更に本会の理事、評議員及び会員のご支援、ご指導を賜り、本会の発展に尽力する所存であります。

今日まで、本会の発展のために多大なご努力をして来られた吉野理事長並びに理事の方々に對して敬意を表すると同時に今後の益々のご活躍を祈念致しております。

刀林会の基盤組織であります医学部は1917年に創設され、初代医学部長、病院長の北里柴三郎博士の建学の理念、即ち、当時、医学界が陥っていた各科学分科を排し、「基礎医学と臨床医学が癒合して一族の如く」を脈々と継承し2017年には開校100周年を迎えます。

おかげさまで3年の任期を無事に務め上げることができました。会の運営にご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。なかでも、3年間ずっとそれぞれ副理事長、監事としてサポートしてくださった熊井、安藤(暢)両君と本間秘書には深甚の謝意を表します。

刀林会選考過程ですが、従来は慣習的に各診療科より1名ずつ推薦され、例年5名が受賞者となってきました。これは、当該規程があれば別ですが、そのような決まりはなく、各診療科構成員数が全く異なることから、きわめて不公平な選考過程と言わざるを得ません。そこで診療科の壁を取り払い、刀林賞1、同奨励賞2名以内としました。

自分が代議員であることから連絡係でもありますが、そのことを十分に再確認の上、引き続きお役目を果たしていただきたいと思っております。

刀林会といたしましても今後の本会の発展の糧とすべく、先人の輝かしい業績を検証し、称え、100年先を見越して会員の皆様と共に叡智を結集し、今から外科学教室と共に祝いの準備をして行きたいと思っております。

本会運営について、私はこの任期中に、それまで考えていたことを実行に移すことができました。主なものも挙げておきます。

- ・会則改定・評議員の非役員化、学術集会開催支援の事業化、その他
- ・会則施行細則改定・選出評議員辞退時の対処
- ・諸規程の作成・施行・委員会設置要綱、各種委員会規程、その他
- ・刀林賞選考過程の改定
- ・理事会、評議員会メンバーリスト(ML)設立・活用
- ・評議員ML・FAX↓全会員への連絡システム(訃

これまでもとかく批判の多かった訃報等の連絡システムですが、各学年の代議員である評議員のメール、ごく一部FAXですが、を通じての全会員への連絡体制が出来上がりました。評議員各位におかれましてはご

自分代議員であることから連絡係でもありますが、そのことを十分に再確認の上、引き続きお役目を果たしていただきたいと思っております。

和田則仁HP小委員会委員長(71回、一)をはじめとした各位の努力で立ち上がったHP(慶大外科HP内)には、役員・評議員・委員会名簿、各種規程、『刀林』などが掲載されています。

会則第23条に「総会において議決した事項は、理事長が速やかに会員に通知する。」とあります。これに則り、機関紙『刀林』の12月号には、毎号、評議員会および総会記事をできるだけ詳細に報告してまいりました。また、全員集合写真も前回より掲載しております。ご感想はいかがでしょうか？

さて、慶大医学部創立100年の2017年度には、今回総会のテーマであった募金活動等が実り、

立派な新病院棟が出来上がります。「世界に冠たるもの」のようでも誠に嬉しい限りであります。しかしここで心配なことが、ぜひ皆さまにお考えいただきたいことがあります。それは、そのような立派な建物を運営する中核頭脳のことです。

ご存じのとおり、私たちが学生の頃は授業料が他の私大に比べて桁違いにどうか、断然安かったのですが、現在では順天堂大学に後れを取り、慈恵医大とほぼ同額というレベルまでになってしまいました。そのため、慶應を止めて他の私大医学部へというデマまで飛び交いました。実際、最近の学生の質の低下をなげいている教授もいます。事実、塾医学部偏差値の著明低下を示している予備校もありません。このような状況下、この春、一般人試験合格者上位10名に対して4年間、年間200万円の奨学金制度がスタートしました。これによつて、このところ全くみられなかった首都圏国立大医学部を蹴つて塾生になつた者がいるという嬉しいニュースを聴いています。

関係各位の努力で、この数年、信濃町キャンパスの運営は極めて順調で、新病院棟建設資金でも、年間6億円10年間、計60億円が病院収入より計上されています。そこで、この6億円を、新病院棟建設後には医学部学費補助に回すと、学生全体の授業料を約100万円安くすることができ、そうなる私たちが学生時代とまではいきませんが、私立医大中では抜群の低価格となるのです。

このようにして初めて、

このようにして初めて、

今、盛んに義塾が謳っている「世界に冠たる総合医学府」を実現できる可能性が出てくるものと信じて疑いません。

これは慶應義塾にとつても大英断です。

それには、三四会ないし刀林会から慶應義塾長を輩出することです。これは決して夢ではありません。比企能樹先輩も連合三田会会長として活躍されていらっしゃいます。

単一学部キャンパスの趣の強い信濃町キャンパスから慶應義塾全体を見渡すことは容易ではありませんが、皆がその気になればできないことではないのです。事実、昔からある文・経・法・商・医・理工の6学部

のうち、医学部を除く5学部は塾長を出しているのです。私たちにも慶應義塾を先導する気概が求められています。最後に「三四会賛歌」(案)について

三四会賛歌(案)

- 一 三田で始めて 四谷で修め 我ら 慶應三四会
二 樹てんこの旗 慶應医学 基礎・臨床の 学合わせ
三 鋭い眼差しに 優しさも 慶應義塾 ここに在り
明日に向かいて 淀みなく 誇りは高し 慶應医学

平成28年度 刀林会評議員会・総会報告

理事長

吉野 肇一 (44回)

副理事長

熊井 浩一郎 (46回)

副理事長

北川 雄光 (65回)

先日、私淑していました刀林会員の小森昭宏先輩が急逝されました。彼は音楽三田会会長、日本作曲家協議会常務理事などの要職を務めておられた作曲家です。私は数年前から「三四会の歌」と思い、彼に相談したところ大賛成してくださいました。そこで彼のご指導を受けながら作詞(別掲)し三四会に応募しました。その後、彼からこれに作曲してみたいという連絡をお受けしたばかりでした。誠に痛恨の極みです。ご遺族にご遺譜についてこれからお尋ねしたいと考えています。

評議員会・総会は、会則上、本会の意思決定機関として定められており(19条)、また、総会議決事項の会員への速やかな通知は理事長の責務(18条)のため、ここに報告いたします(役職名は当時のもの)。

評議員会

平成28年6月18日(土) ホテルオークラ東京別館地下2階アスコットIII 15時より16時

出席評議員数39名(うち書面出席14名、委任状宛先はいずれも理事長)は、総評議員数51名の過半数で定数足を充たした(会則第17条)。

会則および前例に倣い、互選により議長を理事長とした。

報告・審議案件と結果は次のとおり
1. 平成27年度刀林会年間庶務報告
会員数1204名(前年

比+12名)
物故者14名: 上村等(23回)、和爾隆政(30回) 斎藤敏明(32回)、森末久雄(33回)、山田雅宏(34回)、三角和夫(35回)、戸谷重雄(36回)、大井博之(36回)、田中 勸(38回)、角本陽一郎(41回)、上村孝臣(47回)、鶴田典夫(48回)、牛島康榮(48回)、田村清隆(62回)
開業2名: 林 忍(72回)、安西兼丈(77回)
通常理事会2回、Eメールによる理事会8回、通常評議員会1回、Eメールによる評議員会2回、通常総会1回の開催、評議員・役員選挙の実施

教室主任 北川雄光(65、一)
教室幹事 竹内裕也(71、一)、教室幹事補佐 板野 理(71、一)、吉武明弘(77、心)、大塚崇(75、呼)、星野健(63、小)
専修医担当主任 林田哲(77、一、総括)、岡本一真(78、心)、加勢田馨(86相、呼)、星野健(63、小)
研修医担当主任 八木洋(77、一、総括)、岡本一真(78、心)、加勢田馨(86相、呼)、下島直樹(76、小)
教室会議構成員 黒田達夫(61、小)、浅村尚生(62、呼)、北川雄光(65、一)、志水秀行(65、心)、饗庭 了(61、心)、星野健(63、小)、長谷川博敏(66、一)、板野 理(71、一)、竹内裕也(71、一)、尾原秀明(72、一)、大塚 崇(75、呼)、神山育男(76相、呼)、下島直

樹(76、小)、吉武明弘(77、心)、林田 哲(77、一) 渡辺真純(64、連携教室員)
人事異動および役職・職名の変更(H27.4.2~H28.4.1)
一般・消化器外科90件
心臓血管外科23件
呼吸器外科8件
小児外科4件
脳神経外科21件
専修医1年目15名
名誉教授6名、元教授3名、教授5名、客員教授36名、兼任教授1名
准教授8名、客員准教授24名、専任講師19名、客員講師29名、非常勤講師31名、兼任講師1名、助教47名

4. 委員会報告
○基本問題検討委員会(熊井委員長) 刀林基金規定改定、財産管理方法の検討について報告。脳神経外科教室独立に伴う本会における処遇について審議。脳神経外科同窓会の独立と組織準備資金援助として刀林会募金委員会名義の約250万円が充てられることを承認。
○広報委員会(小澤委員長) 長欠席のため、理事長) 刀林新聞105号、106号の刊行、ホームページの運営に関して報告
○刀林賞選考委員会(幕内委員長)
平成28年度 刀林賞 長 泰則(69回、心)、刀林奨励賞 木下 智成(86回、呼)
刀林賞規定改定について審議、承認
○刀林会新病院棟建設募金委員会(北川委員長) 募金活動の推進方法について報告

5. 平成27年度決算報告(星野会計係)
当期収入合計、同支出合計、同差額の順に記す。(単位万円、千円以下四捨五入)
一般会計612,505、106黒字(次期繰り越し2,122)
学会支援準備金0、23赤字(同375)
刀林基金0、0(同1,684)
承認
6. 平成28年度事業計画(熊井副理事長)
(1) 刀林新聞107号、108号の発行
(2) 通常会務: 総会、評議員会、理事会および各種委員会の開催
(3) 学術会議開催支援募金
(4) 刀林賞選考
(5) ホームページ運営
(6) 新病院棟建設募金承認
7. 平成28年度予算(星野会計係)
広告収入減少見込み。一般会計、支援準備金、刀林基金等の予算について、ほぼ例年どおり承認
8. 会則施行細則改定(理事長)
評議員選挙当選者に辞退者がした場合には、次点者を繰り上げ当選することを上程、承認
9. 平成28年度学術集会開催支援募金
次の4件が承認された。
(1) 第32回日本脳神経外科国際フォーラムおよび第31回日本脳神経外科同時通訳夏季研修会(平成29年7月14日から15日@大宮) 会長 荻野雅宏

(独協医科大学、67回、脳) 総予算685万円のうち60万円の支援要請
(2) 第58回日本肺癌学会学術集会および第18回世界肺癌学会(平成29年10月14日から18日@横浜) 会長 浅村尚生(慶應義塾大学、62回、呼) 第58回日本肺癌学会学術集会の総予算1億6,000万円のうち1,400万円、第18回世界肺癌学会の総予算5億9,000万円のうち1,000万円支援要請
(3) 第55回日本癌治療学会学術集会(平成29年10月20日から22日@横浜) 会長 渡邊昌彦(北里大学、58回、一) 総予算3億円のうち1,000万円の支援要請
(4) 第31回日本外傷学会総会・学術集会(平成29年6月1日から2日@横浜) 会長 北野光秀(済生会横浜市東部病院、59回、一) 総予算2,900万円のうち2,900万円の支援要請
10. 学会支援募金内規改定(理事長)
理事長面接を必須としない改定内容を報告
11. 平成28年新入室者17名(北川教室主任、本紙別掲)
85回相当1名、89回1名、92回相当2名、93回生9名、同相当4名、
12. 刀林会新入会(8名、本項総会欄)
一般・消化器外科4名、呼吸器外科4名の新入会希望者の紹介がそれぞれ、の診療科部長よりあり、承認

総会

ホテルオークラ東京別館
地下2階アスコットI
16時半から17時半

出席会員数702名(うち書面出席576名、委任状宛先はいずれも理事長)は、総会員1,204名の過半数で定数足を充たした(会則第17条)。なお出席は132名(前年比マイナス27名)で、うち専修医(86回、86回相当まで)36名、新入会者17名であった。

会則により、理事長が議長を務めた。

昨年度中に物故された会員14名に黙祷が捧げられた。(前述の評議員会と重複する刀林会および年間教室報告は省略)

○平成27年度決算・監査報告が、星野健會計係(63回、小)により行われた。

○平成27年度事業計画および予算が熊井副理事長・星野會計係より報告された。

○会則施行細則改定案が、理事長より上程され、拍手多数で承認された。

○学術集会開催支援金要請挨拶

(1) 第32回日本脳神経外科国際フォーラムおよび第31回日本脳神経

○刀林会新入会者紹介
熱田幸司(静岡赤十字病院、推薦者北川教授)、星川竜彦(公立福生病院、推薦者諸角福生病院名誉院長)、上原浩文(帝京大学、推薦者浅村教授)、鎌田嗣正(済生会中央病院、推薦者浅村教授)、石田文孝(埼

玉病院、推薦者原 彰男(埼玉病院副院長)、田中規幹(埼玉病院、推薦者原 彰男)玉病院副院長) 彰男
○平成28年度外科学教室新入室者が、林田専修医担当主任より紹介された。外科学教室入室者は93回生10名、同相当7名、脳神経外科学教室入室者は2名。各自壇上にて挨拶

「慶應義塾大学医学部創立百年記念新病院棟建設事業」現在進行中の新病院棟建設事業・募金活動に焦点を合わせて、北川刀林会新病院棟建設募金委員会委員長・教室主任司会のもと、比

院棟建設事業募金活動について、渡辺真純新病院棟建設準備室長(64回、呼)より「進捗状況について」という演題で講演が行われた。

○理事長挨拶
最後に任期満了の理事長より、任期中の事柄、将来展望、お礼等の挨拶(本紙別掲)とともに、当日、国外出張で欠席の北島政樹次期理事長よりのメッセージが代読された。
この後、全員集合写真撮影後、ホテルオークラ東京別館地下2階アスコットIIで懇親会が例年どおりに行われた。以上



済生会宇都宮病院 院長就任



済生会宇都宮病院
院長

小林 健二 (55回)

平成28年4月1日付けで栃木県済生会宇都宮病院の院長に就任いたしました。当院は創立74年の伝統ある病院で、責任の重さに身の引き締まる思いが致します。昭和57年に大先輩である梅園明先生(32回)のもとに外科医として着任してから34年経ち、この間、多くの諸先輩方にご指導頂き、同僚、後輩の方々に支えられてまいりました。改めて深く感謝申し上げます。当院は昭和17年に宇都宮市で開院、以来徐々に規模を拡大し、昭和56年に栃木県救命救急センターを併設、平成8年の梅園院長時



代に、64床の第三次救急を担う急性期病院として現在の地に移転しました。現在、DPCII群の地域中核病院として救急医療と高度医療を中核事業として運営しており、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、基幹災害拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの指定をうけております。一方社会福祉法人である済生会病院として、無料低額診療、生活困窮者支援事業、性暴力救済センター、病児保育事業などの福祉活動にも注力しており、幅広い医療ニーズにに応じております。診療機能の充実と、患者様の満足度向上の両立を目指して、平成28年8月からの3年計画で新たな管理棟の建築、手術室とICUの整備拡充を予定しているところとです。当院には刀林会の会員として外科・篠崎浩治君(68回)ほか4名、呼吸器外科・田島敦志君(72回)ほか1名、心臓血管外科・橋詰賢一君(74回)ほか4名、脳神経外科・中務正志君(61回)ほか3名、救急科(外傷班)・加瀬建一君(61回相当)が在籍しており、少人数ながら各科とも慶応関連病院の中でトップクラスの手術数を誇っております。また救命救急センターを擁していることから緊急手術も多く、各科とも精力的に働いています。病院経営はますます難しい時代になりましたが、積極的に地域医療の発展に取り組んで参る所存です。刀林会の皆様におかれましては益々のご指導、ご支援のほどお願い申し上げます。

川崎市立井田病院 院長退任 青梅今井病院 院長就任



橋本 光正 (54回)

本年3月末で川崎市立井田病院院長を退任いたしました。在任中は慶應義塾大学医学部外科学教室はじめ多くの刀林会の諸先生方にお世話になりましたことをこ

の場をお借りして感謝申し上げます。私が川崎市立井田病院に赴任したのは平成23年4月のことで東日本大震災の直後でした。地震で旧棟棟の

壁にひびが入るなど、病院業務にも混乱が生じているなかでのスタートとなりました。しかも病院の現地建て替え工事の最中で、震災の影響で工期も大幅に遅れ

るなど大変な時期でしたが、平成24年5月にはI期工事が完成し一部開院にこぎつきました。その後、残る救急センターや内視鏡センターなどがようやく完成し、平成27年4月に全面開院することができました。その間、DPCの導入や電子カルテの導入等も行い、川崎南部医療圏中部の医療を担う急性期病院としての形が整ってきたのではないかと思っております。今年度中にオープンする予定の地域包括ケア病棟の運営や救急医療体制のさらなる整備等気がなることもありましたが職員が一丸となつてうまくやってくれるものと期待しております。

4月からは青梅市にある青梅今井病院の院長に就任いたしました。昨年度、青梅今井病院に諸角強英先生(53回)が非常勤で勤務されていたことで刀林会と関係ができ、こうしたご縁でこのたび院長職のお話をいただきました。

帝京大学医学部附属溝口病院 外科・緩和ケアセンター教授就任



帝京大学医学部附属溝口病院
外科・緩和ケアセンター教授
宮澤 光男 (64回相当)

2016年4月より帝京大学医学部附属溝口病院外科・緩和ケアセンター教授を拝命しております。現在、帝京大学溝口病院にお

きましては、緩和ケアセンターは開設されておりませんが、2017年5月より新病院(12階建、400床)となるため、緩和ケアチー

ム立ち上げ」の命を受け、様々な準備を進めております。帝京大学医学部教授への就任にあたり、北島政樹名誉教授(45回)、北川雄

光教授(65回)には大変なご尽力、ご高配を頂き心より感謝申し上げます。私は、1985年5月、阿部令彦名誉教授(30回)が主宰する外科学教室に入局いたしました。チーフ出張(国立栃木病院)後、北島政樹名誉教授、故都築俊治教授(34回)、故上田政和先生(53回)のご尽力により、MIT, Cedars-Sinai Medical Center (Los Angeles), UCLA に留学し、人工肝臓の研究および肝移植の臨床の攻究機会を与えていただきました。帰国後、東京医療センターにて臨床(消化器外科を中心)を研鑽し、その後14年間埼玉医科大学(埼玉医科大学病院5年、埼玉医科大学国際医療センター9年)にて、

臨床(肝胆脾外科を中心)、研究(生体吸収性材料を用いた臓器再生)、若手医師の指導(学位取得5名、日本肝胆脾外科学会高度技能専門医取得3名、留学推薦3名(MIT, Harvard, UCSF))を行ってまいりました。現在、帝京大学溝口病院には、私以外に刀林会出身の先生はおりませんが、今まで以上に臨床、研究、教育に精進し、新病院におきましては、慶應外科若手医師に研修の場を提供できるようにしたいと考えております。刀林会の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

国際医療福祉大学病院 教授就任



国際医療福祉大学病院 教授
吉田 昌 (69回)

平成26年4月1日付で国際医療福祉大学病院外科教授を拝命いたしました。就任にあたり、多大なるご支援を受け賜りました刀林会の諸先生方、特に国際医療福祉大学副理事長北島政樹先生、慶應義塾大学一般消化器外科教授北川雄光先生に厚く御礼申し上げます。

国際医療福祉大学は、平成7年に大田原市にできた保健学部が始まりました。現在、九州地区と関東地区に6つのキャンパス、8学部21学科があります。平成27年4月には医学部医学科が加わることになり、医療福祉の総合大学になりました。国際医療福祉大学病院は、平成10年に大田原市に隣接する那須塩原市に開設され、現在353床で、新棟建設により403床になろうとする、発展途上の病院です。2013年にDa Vinci Siが導入され、平成28年10月にロボッ

トを用いた胃切除術、先進医療Bの承認を受けました。また、平成26年7月から、カラー・明視野蛍光腹腔镜のPINPOINTを個人輸入・倫理委員会承認の上、Indocyanine green (ICG) 蛍光ナビゲーション手術を行っております。これは、臓器血流の確認や胆管造影、原発性・転移性肝腫瘍の造影に使用しております。ナビゲーション手術以外でも、リンパ節マッピングなど、幅広い手術で応用しております。

私は昭和63年に杏林大学を卒業し、当時、北島政樹先生が助教であった、第一外科に入局いたしました。目白第二病院、東京都老人医療センター(現・地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター)に出張。平成4年に慶應義塾大学外科入室、国立大蔵病院(現・国立成育医療研究センター)に出張し、熊井浩一郎先生を班長とする胃班に配属されました。胃班における術前診断の精度は、今日まで診療を支えてきています。チーフ出張では東京電力病院で露木 晃外科部長に御指導いただきました。留学は University of California, Irvine の Prof. Sandor Szabo のもとに2年間。杏林大学時代から北島先生に御指導いただいた微小循環障害の知見を一貫して深めることができました。Prof. Sandor Szabo とは今日まで共同での学術活動を続けており、師との出会いの大切さと喜びを改めて感じております。その後、川崎市立川崎病院にて石井誠一郎外科部長に御指導いただき、平成13年から慶應義塾大学外科助手として故久保田哲朗先生、才川義朗先生のもと、胃班スタッフとして活動しました。熊井浩一郎内視鏡センター長のもとでの内視鏡治療や才川義朗先生が定型化

北里大学医学部外科学教授就任



北里大学医学部外科学教授
北里大学北里研究所病院、
外科部長、病院長補佐
石井 良幸 (70回)

2016年7月1日付けで、北里大学医学部外科学教授を拝命いたしました。70回生の石井良幸でございます。この場をお借りいたしまして教授就任のご挨拶を申し上げます。私は東京都出身で、1991年に慶應義塾大学医学部を卒業し外科学教室に入局いたしました。私の入局年は現国際医療福祉大学副理事長および慶應義塾大学医学部名誉教授であられる北島政樹先生が、慶應義塾大学医学部外科学教室の教授に就任された年であります。北島外科の1期生となり、慶應義塾大学病院で1年間の研修の後、3年間の関連病院への出向、1995年5月より慶應義塾大学医学部外科学助手(一般・消化器外科)として任用され、1996年5月より2年間の国立がんセンター研究所への国内留学の機会をいただきました。2000年5月よりポストチーフ出張を経て

2003年1月より医学部外科学助手として帰室し、北島先生が退官される2007年まで外科学の基礎を北島外科で学ばせていただきました。2007年4月からは北川雄光教授の新体制の下、academic surgeonとしての心得を学ばせていただき、2009年4月より専任講師を拝命し大腸外科学と腫瘍学の研究に従事してまいりました。2014年4月にご縁があり北里大学北里研究所病院の消化器外科部長に就任し、2015年4月に臨床准教授、7月より病院長補佐、2016年4月より統括外科部長を拝命いたしました。現在、北里大学医学部外科学の主任教授は渡邊昌彦教授が務められておりますが、日本内視鏡外科学会理事長さらに日本外科学会理事、日本癌治療学会理事をも務められ、世界の内視鏡外科手術の先導者として精力的にご尽力さ

れております。私もこれまでの慶應義塾大学と北里大学の外科学の伝統と実績を受け継ぐとともに、さらなる発展を築けるよう努力してまいりたいと存じます。また、私がかつて成長できたことは一重に諸先輩の先生のご指導とご鞭撻によるものと深く御礼申し上げますとともに、今後の医学の発展に微力ながら尽力することとその恩返しをしたいと思いますと考えております。さらに、私が諸先輩より賜りました暖かいご指導やご助言を後輩の先生にお返しし、少しでも後輩の先生のお役に立てるよう勤めてい

きたいと存じます。以上、慶應義塾大学ならびに北里大学の発展に微力ながら貢献できるよう努めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- △略歴▽
- 1991年 6月 慶應義塾大学病院 研修医(外科学)
 - 1995年 5月 慶應義塾大学医学部 助手(外科学)
 - 1996年 5月 国立がんセンター研究所リサーチ・レジデント
 - 2001年 6月 米国コーネル大学ポストドクトラルフェロー
 - 2009年 4月 慶應義塾大学医学部専任講師(外科学)
 - 2014年 4月 北里大学北里研究所病院 消化器外科部長
 - 2015年 4月 北里大学北里研究所病院 臨床准教授
 - 2015年 7月 北里大学北里研究所病院 病院長補佐
 - 2016年 4月 北里大学北里研究所病院 統括外科部長
 - 2016年 7月 北里大学医学部教授(外科学)



杏林大学医学部小児外科 教授就任



杏林大学
医学部小児外科 教授

浮山 越史 (65回)

この度、2016年4月1日から、杏林大学医学部小児外科教室主任教授を拝命いたしました。これまでご指導、ご協力を賜りまして刀林会の諸先生がたにはこの場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。杏林大学医学部小児外科教室は、1994年に講座となり、伊藤泰雄先生(47回)が初代、2009年から藤澤融司先生(55回)が2代目、わたくしで3代目主任教授となります。昨年は、「講座開設20周年記念講演会・祝賀会」を行いま

した。このような歴史ある教室を預かることになり、その責任を重く感じています。杏林大学病院は多摩地区で唯一の大学病院本院であり、総合周産期母子医療センター、高度救命救急センターであることから、新生児外科、小児救急を中心に、小児外科診療(新生児手術、悪性腫瘍手術、腹腔鏡手術、胆道閉鎖症手術、鎖肛手術、Hirschsprung病手術、漏斗胸手術、小児泌尿器科手術、小児産婦人科手術等)を行っております。研



究面ではHirschsprung病の基礎的研究、小児救急関連の研究を行っています。今後は今までの経験を活かして、教育、研究、臨床に努力してまいりたいと思っております。教育においては、一人一人を大切に、技術面、精神面でも立派な小児外科医となるように育てていきたいと思っております。小児外科希望の医師がいるようであれば、ご紹介いただければ幸いです。臨床においては、患者さん、ご家族にとって手術は一生に一度のことであり、その思いに十分に報えるように切磋琢磨してまいります。子ども患者さんがある程度、外傷診療の経験の少ない医師でもある程度の初期診療を施行することが可能となり、予後の改善につながります。

皆様がたにおきましては、今後ともご指導、ご鞭撻、ご支援賜りますようお願い申し上げます。研究ができればと考えています。

このJATECも、ショック状態(FAST(+))超音波検査で腹腔内出血の貯留あり)となりますと手術適応となり一般外科医や外

第31回日本外傷学会総会・学術集会のご紹介



済生会横浜市東部病院
横浜市重症外傷センター

北野 光秀 (59回)

日本外傷学会は、日本の外傷診療の向上をめざし外科医、救急医、脳外科医、整形外科医などが中心となり設立された学会で、現在の会員数は2222名です。1987年に第1回の学術集会が開催され、刀林会からは第19回吉井 宏先生が会長となりました。さて、本邦の外傷診療において、初期診療ガイドラインJATECや病院前救護におけるJTECなどの普及から、その診療成績は徐々に改善しつつあります。これには外傷学会が大きく寄与し、診療の標準化がはかられたことから、外傷診療の経験の少ない医師でもある程度の初期診療を施行することが可能となり、予後の改善につながりました。

科系救急医がコールされ緊急開腹手術をおこないます。小腸損傷に対する腸切除など、予定手術の術式を用いて治療できることが多くありますが、凝固障害のある肝損傷など、ときに対応に困難を感じる局面に遭遇します。また、全身状態が安定していても膝・十二指腸損傷など、通常の癌手術では治療の難しい損傷もあります。さらに、腹部外傷に限らず、頭部外傷における開頭の適応や、胸部外傷におけるダメージコントロール手術などいまだコントロール手術が得られておらず定型化されていない領域もあります。このように、外傷手術では予定手術の延長では対応しきれない「挑戦的」な手術を選択することがあります。

今回の外傷学会では、このような通常の手術術式では処置しきれなかった外傷症例や、定型的術式を施行して合併症で苦勞した症例などを提示していただきたいと存じます。また、その中で興味深い症例はワークショップ「外傷手術への挑戦」として集中的に議論を行いたいと存じます。手術の様子は写真やビデオなどあればいいのですが、なかなか撮影できないので手書きのシエーマなど手作りの題材を用いておこないたいと存じます。

一方、重症外傷患者の救命にはシステム・人員・設備の整った外傷センターに患者を集中させることが必要とされています。米国ではそのような観点から厳しい基準のもとLevel I~IVの外傷センターが指定され、米国外科学会の外傷委員会が作成した具体的な基準が提示されています。本邦でも日本外傷学会が中心に外傷センターの基準案が作成されましたが、実際の外傷センター認定には至っていません。横浜市は外傷

学会案に準じて外傷センター基準案を作成し、当院を含め重症外傷センター2施設を指定しましたが、多数の外傷患者が集中するという状態ではありません。そこで、本学会では、前回(第30回)から引き続きシンポジウムを企画し、外傷センター設立・認定に関する問題点やその対策など、会員の皆様の意見を集約していきたいと考えております。県・市あるいは学会が、実際の外傷センター認定に向けて動き出すきっかけとなつていただければ幸いです。

みなさん、港のみえる横浜の地で、外傷手術に関して心行くまで議論していただき今後の外傷診療の糧にしたいだければ幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



第32回日本小児外科学会

秋季シンポジウムを終えて



さいたま市立病院
小児外科

中野 美和子 (54回相当)

このたび、10月27日、28日、29日に、さいたま市大宮、ソニックシティにおいて第32回日本小児外科学会秋季シンポジウム・PSJM2016 (Pediatric Surgery Joint Meeting 2016) を開催させていただきました。総計304題の演題と、581名の参加者で、活発な討論を繰り広げることができ無事、盛会裏に終了することができました。

日本小児外科学会秋季シンポジウムは、日本小児外科学会として行われる年2回行われる学術集会の一つで、ひとつのテーマを、シンポジウム形式で深く討論し、小児外科の進歩と発展に寄与するものです。今回のテーマは、トランジション(小児期医療から、成人期医療への橋渡し)でした。

立の一般総合病院として、かねてよりこのテーマについては取り組んできています。一般病院が当学会を主催することは稀ですが、遠藤昌夫名誉院長に続き、会長に選んでいただき、小規模施設ながら、各方面のご協力で、なんとか開催することができました。

秋のシンポジウムについては、61題と予想より多くの演題の応募があり、予定の1日では、討論が尽くせないため、前2日の各研究会においても、セッションとして、発表していただきました。総排泄腔遺残、腸管不全、排泄障害、重症心身障害、胆道閉鎖症など、主な疾患についての討論のほかに、トランジションに



▲学会の最後に、黒田小児外科学会理事長(慶應義塾大学小児外科教授)から、感謝状を渡されたところ

ついでに各施設での取り組み、その中でおきてくるさまざまな問題点、また、全般的な傾向と学会としての取り組み、行政側、他の学会での取り組み、受け取る側の外科医の意識調査など、総論的な討論も行い、現在の問題点を広く深く掘り下げることができたと思っています。心理面でのサポートも重要な課題であり、患者と医療側の人間関係についての考察を深めるため、文化講演として、葉師寺の大谷鉄英師に「寄りの在り方」というテーマで法話をいただきました。過密な日程の中でも、楽しい懇親会も開き、充実した学会でした。これもひとえに皆様からのご協力、ご支援の賜物と感謝申し上げます。次第でございます。

病院紹介

川崎市立井田病院



川崎市立井田病院
脳神経外科部長、副院長

小野塚 聡 (63回)

川崎市には川崎病院、井田病院、多摩病院と3つの市立病院があります。川崎病院と井田病院の二つを直営しています。井田病院は1949年に結

核病院としてスタートし、1970年代は慢性疾患を対象とした一般病院でした。1998年に緩和ケア病棟を設置するとともに在宅医療にも力を入れ、

2006年にはがん診療連携拠点病院の指定を受けました。診断から治療、そして緩和ケアに至るまで切れ目のないがん診療を提供しています。

現在、東急東横線の元住吉と日吉間の車窓から井田山(矢上キャンパスの反対側)の頂上に新築された川崎市立井田病院を見ることが出来ます。6年かけた病院の全面工事も終了し、2015年からは救急センター、内視鏡センター、化学療法センター、透視センターを有する新病院で診療を行っております。明るく清潔な環境、さらに丘の上ですので眺望の良さも相まって患者さんは快適に穏やかに過ごすことができます。



最寄り日は日吉駅で徒歩12分。主たる診療圏は川崎市中原区、高津区であり、人口が増えている武蔵小杉があります。さらに横浜市の市境に位置しておりますので港北区からも受診します。病床は383

床(一般320床・地域包括ケア病棟45床を含む、結核40床、緩和ケア23床)。常勤医は59名(その他に前期研修医7名、後期研修医20名)で三四会員は33名。循環器内科、呼吸器内科、内分泌内科、血液内科、消化器内科、外科、整形外科、呼吸器外科、心臓血管外科、産婦人科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、精神科、耳鼻咽喉科の各教室から派遣していただいています。



現在のスタッフで刀林会員は、外科では有澤淑人(63回)、玉川英史(70回相当)、大山隆史(78回)、藤村知賢(85回相当)、内視鏡センターの大森泰(61回相当)に久保祐人(後期研修医)の6名で年間約500件の手術を行っています。乳腺外科には嶋田恭輔(84回相当)、脳神経外科は小野塚聡(63回)、三島牧(74回相当)、呼吸器外科には成毛聖夫(70回相当)、心臓血管外科は森厚夫(66回)がおります。またこれまでに川原英之先生(48回)、橋本光正先生(54回)が理事、院長として活躍されました。

当院は1.がん等の高度・特殊な医療の提供、2.成人疾患医療の強化、3.2次救急の強化、4.結核医療の充実、5.地域医療の推進、の5つを基本方針としております。今後も地域の医療機関の先生方との連携を密にして、「自治体病院として、市民に信頼され、市民が安心してかかれる病院づくり」を推進してまいります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

平成 27 年度刀林賞を受賞して



東海大学医学部
外科学系心臓血管外科学
長 泰則 (69回)

この度、2014年 European Journal of Cardio-Thoracic Surgery に掲載された、Non-heart transplant surgical approaches with left ventricular restoration and mitral valve operation for advanced ischaemic cardiomyopathy、

46(5):849-856,2014 (EJCTS) 3,048) に関しまして伝統ある刀林賞を頂きました。今回の受賞論文作成に当たりご指導頂いた四津良平先生をはじめ、特に論文作成のほか刀林賞応募にあたりご推薦頂いた志水秀行先生に感謝申し上げます。重症虚血性心筋症に対し確立された治療は心臓移植

左室形成術 (Dor 手術) は心筋梗塞後に循環動態に悪影響を及ぼす広範囲癒痕組織に対し、左室を切開、癒痕組織を切除する (exclusion) 手術です。私は 2000 年 11 月に川田志明先生のご高配により Centre Cardiothoracique de Monaco (モナコ公国) の Dor 教授のもとに留学しこの手術を直接ご指導頂きました。Dor 教授は虚血性心筋症に対する左室形成術の第一人者であり、現在でも多くの心臓血管外科医がその術式を学ぶために世界中から彼のもとを訪れています。一方で、2009 年に発表された欧米の大規模臨床研究 (STICH trial) は「虚血性心筋症に対し、冠動脈バイパス術に左室形成術を追加するメリットはない」という非常に残念な結果となりました。この研究は患者

2015 年度「刀林賞」選考について



刀林賞選考委員会 委員長
幕内 博康 (49回)

2015 年度「刀林賞」は、吉野肇一前理事長の「受賞者が受賞できて光栄である」と思えるもの、としたいとの考えから、先ず「刀林賞規則」の改定から行われ、対象は臨床的研究ならびに臨床上有用な基礎的研究、その他とし、刀林賞 1 編以内副賞 50 万円、奨励賞 2 編以内副賞 10 万円と引き上げられました。査読システムの医学雑誌に、当該選考年の 11 月 30 日までの直近 2 年間に掲載された掲載確定となった学術論文の筆頭著者であり、刀林会費を完納されたものとされました。選考委員会委員には 10 名の錚錚たる各分野の会員が選定されています。2015 年度の刀林賞には 9 論文の応募がありました。心・大血管 1 論文、消化器 2 論文、呼吸器 6 論文

刀林奨励賞を受賞して



慶應義塾大学医学部
外科学 (呼吸器)
木下 智成 (86回)

この度は伝統ある刀林会の刀林奨励賞をいただき、身に余る光栄に存じます。今回の受賞にあたりご指導いただきました浅村尚生教授、大塚崇准教授に厚

く御礼を申し上げます。私が受賞した論文は国際肺癌学会 (IASLC) の機関誌である「Journal of Thoracic Oncology」に 2015 年に掲載された「Prognostic

Impact of Preoperative Tumor Marker Levels and Lymphovascular Invasion in Pathological Stage I Adenocarcinoma and Squamous Cell Carcinoma of the Lung」という表題の論文です。近年解剖学的進展範囲のみならずそれぞれの腫瘍特有の進展形式や臨床像を踏まえ、臨床病理学的特徴を TNM 分類に含む固形腫瘍が増えてきています。肺癌においても現在までに多くの論文で臨床病理学的因子が予後因子となりうる事が示されています。このような予後不良な臨床病理学的因子を積極的に TNM 分類に組み込むことで予後を正確に反映させ、高率に再発する可能性の高い群に關しては術後補助化学療法などを行えば、腫瘍の再発を抑制できる可能性がります。我々は慶應義塾大学病

院と済生会宇都宮病院で完全切除された、病理病期二期腺癌と扁平上皮癌の症例計 629 例を集積し、それぞれの組織型において特徴的な予後不良因子 (腺癌では術前 CEA 高値、リンパ管侵襲、血管浸潤、扁平上皮癌では術前 SCC 高値、血管浸潤) を同定し、今後の TNM 分類の因子に組み込むべきであると結論付けました。私は 2016 年 10 月よりカナダのトロント大学胸部外科に留学しております。慶應で培った知識を活かし引き続き早期肺癌の病態に關して研究を継続していく所存です。今後ともご指導宜しく願います。

在宅医療奮闘記



医療法人あすなる会
やまとサンクリニックス

大蔵 幹彦 (53回相当)

平成24年4月1日から、在宅医療・訪問診療を開始しました。現在、常勤医3名、非常勤医4名、看護師5名、事務8名の体制で、神奈川県大和市と伊勢原市の2か所の在宅療養支援診療所を拠点に活動しています。在宅医療は通院困難な患者さんのご自宅や施設を定期的に訪問して診療を行います。が、診療範囲についてはクリニックから半径16km以内と決められており、大和・伊勢原を中心に東は横浜西部、南は藤沢、北は相模原西は秦野とかなりの範囲を駆け回っています。患者数は、個人宅の15人を含めて約600人を担当しています。年齢は37歳から105歳ですが、100歳以上の9人(男性は一人だけ)を含めて80歳以上が8割を占めています。在宅療養支援診療所には、24時間365日体制、年間の看取り件数報告などの要件があり、昨年1年間の看取り件数は84件でした。24時間体制に対応するため、医師は「担当医制」

と「グループ診療制」を併用しています。訪問看護・訪問リハ・訪問介護・ケアマネ・薬局などクリニック以外の多職種に参加してもらうチーム医療が大切で、その運用の成否が皆の負担軽減につながると思っています。最近では小児や末期癌の在宅医療も問題になっていますが、在宅医療の中心は高齢者です。高齢者の在宅医療は二つの課題に直面しています。一つは、この超高齢社会を福祉・医療体制と財政基盤がどう乗り切るかという社会的課題です。団塊世代が75歳の後期高齢者になる「2025年問題」として懸念されています。一方で、高齢人口の増加は多死時代を意味します。現在の年間死亡数が110万人、これが2039年には167万人のピークを迎える予想です。1977年に病院死亡が在宅死亡を上回ってから現在も8割が病院で亡くなっています。これらに対する国の対策は、病院から地域へ「地域包括

ケアシステム」の構築を目指しており、「在宅医療がその成否の鍵を握る」としています。もう一つは、高齢者側の問題です。徘徊・孤独死・老々介護が話題になります。高齢者の居住場所を含めた支援体制ができていません。お年寄りの多くは寂しがついています。在宅医療の現場で辛いのは、「先生、もういいんだよ」生きてるのが「地獄だよ」といった声を聞く時です。これまで経験してきた「病気を治す医療」が全く無力な世界なのです。それぞれの輝かしい人生航路の最後を、尊厳を大切に送る支援をしたいと思います。容易ではありません。こちらの働きかけがお年寄りやご家族に喜んで頂いたときに素朴に達成感を覚え、在宅医療こそ臨床医学の原点かなと思ふこともあります。大分、体力的な衰えを感じていますが、もうしばらくこの世界で頑張ってみようと思っています。

在宅医療奮闘記



湘南中央会
長後クリニックス 院長

三木 浩榮 (69回)

平成21年10月から訪問診療に従事しており、早いもので7年目になりました。最初は関東訪問診療ネットワークの湘南クリニックスに配属されましたが、3年前から、小田急江ノ島線の長後駅から徒歩3分の場所にある、湘南中央会長後クリニックスの院長として働いております。常勤医師は僕だけ、非常勤医として、精神科医師が1人2週間に1日だけきてもらっており、看護師は3人、医事は2人、メディカルサポートが2人おります。訪問診療というものは、予定した日時に月2回訪問する、というシステムですが、現在の診療状況は、個人在宅への往診は7名で、ほとんどはグループホーム(9名27名)や有料老人ホーム(40名90名)となっており、400名前後診ております。診療圏の範囲としては、クリニックを中心にして、半径8km以内になりますが、以前、20km離れた施設に往診していた事も

あり、僕が運転して看護師を2人乗せて往診するスタイルのため、無駄に疲れる状況の事もありました。通常の診療内容は、バイタルチェックと処方箋の継続ですが、大事な仕事として、老衰によるお看取りがあります。たいていの御家族様は老衰の状況を承諾してくれませんが、なかには食事が摂取できない原因を精査してもらわないと納得できない、と申される御家族様もあり、その時は病院へ精査目的で紹介する、という、大変恐縮なお願いをすることもあります。これでは、一般病院の負担を減らそうとしている医療界の意に反している、といつも考えてしまっています。また、認知症により財産の管理ができないため、成年後見人制度を立

てる書類を作成するのですが、長男様から頼まれて記載したのに、次男様から猛烈なクレームが来たことがありました。以前から、兄弟の間でもめていた事を後から知りました。診療内容は、認知症の治療、心不全、腎不全などの内科的な内容にはなりません。関東訪問診療ネットワークの勤務医はもと外科系の医師が多く、その方が結局は診療守備範囲が広くなり訪問診療にむいているのかなと思います。現在入職してくる医師は60歳以降も多いのですが、やはりこの仕事も体力を使います。研修医出たての医師の入職もありましたが、それもお勧めできません。訪問診療医の育成をする時代がきていると感じております。



「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。
5-HT₃ 受容体拮抗製剤吐剤 劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること) **薬価標準収載**
アロキシ 静注 0.75mg Aloxi. I.V. injection 0.75mg **アロキシ 点滴静注1/6g 0.75mg Aloxi. I.V. infusion bag 0.75mg**
パロノセトロン塩酸塩注射液 製造販売元 大鵬薬品工業株式会社 代理店 HELSINN スイス
TEL:0120-20-4527 FAX:03-3293-2451 http://www.taiho.co.jp/ 2016年5月作成

すべての革新は患者さんのために
CHUGAI 中外製薬
Roche A member of the Roche group
at the Front Line CHUGAI ONCOLOGY
AVASTIN bevacizumab
日本標準商品分類番号 874291
抗悪性腫瘍剤 抗VEGF注1)ヒト化モノクローナル抗体 薬価標準収載
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品注2) **アバステン 点滴静注 100mg/4mL 400mg/16mL**
ベバシズマブ(遺伝子組換え注) **AVASTIN**
注1)VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)
注2)注意—医師等の処方箋により使用すること
※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。
製造販売元 中外製薬株式会社 〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 ホームページで中外製薬の企業・製品情報をご覧ください。 http://www.chugai-pharm.co.jp 2016年11月作成

在宅医療奮闘記



医療法人社団
ビジョナリー・ヘルスケア
川崎高津診療所 院長
松井 英男 (65回)

当院は、川崎市高津区の在宅療養支援診療所として、慢性疾患で自宅療養中の患者や、「人生の最後を家で過ごしたい」というがん患者の訪問診療を続けてはや6年になります。私どもは、より複合的なサービスが提供できるように、ケアマネジャーのいる介護支援事業所、訪問看護事業所を併設し、医師9名体制で診療に望んでいます。診療

圏は、半径5kmくらいで都内も含まれます。内科的疾患を扱うことが多いこの頃ですが、刀林会の先生方への紹介ということで、がん緩和ケアを中心に述べたいと思います。

当院のがん患者は高齢者が多く、家での緩和ケアを行うには、家族の協力は必須です。ところが、介護面でどうしても無理というところで入院を余儀なくされる



場合も多いのが現状です。また、身よりもなく、経済的な理由もあって、独居で終末期を迎える方への対応が必要になることもあります。その場合は、介護、看護、近所の方、行政の方との相談の場を持ち、緊急時の対応を事前に打ち合わせます。患者にコールボタンを持たせることや、場合によっては遠隔モニタリングなども必要ではないかと考えています。

改善し、より長く生きる可能性も出てきます。実際、終末期がん緩和ケアで、入院治療を併用した群とそうでない群とで予後を比較したところ、入院治療併用群の生存期間(中央値)は約3週間延長していました。これをどう考えるかは、議論の分かれるところですが、すぐに鎮静に移行してしまうのは、安楽死に抵触する可能性もあり、医療放棄にも繋がりがかねないと考えています。

当院で在宅がん終末期医療を受けた患者100名の内訳は、消化器がんが最も多く、61%を占めていました。これらの患者の予後を検討したところ、生存期間の中央値は39日であり、1年生存率は11.5%でした。したがって、在宅での緩和医療は、最後の1ヶ月程度の診療を行っていることになります。また、年齢別の生存期間(中央値)を比較してみると、80歳以上の患者は58日に対して80歳未満は42日であり、生存率でも有意差を認めました。高齢者のがんの進行が遅いことは、日常の診療で何となく感じていたことですが、このデータはそれを裏づけるものと考えています。

在宅医療は、超高齢化社会における理想的な医療と思われていますが、「診療を行って本当に良かったか」の評価が必要だと思います。この点、在宅医療にはエビデンスがほとんどないのが現状です。日常診療の傍らで、こうしたエビデンス作りにも取り組んでいかなくてはならないと考えるこの頃です。



追悼

故都築俊治先生 (34回) を偲んで

市立御前崎総合病院 顧問 / 外科
浜松医科大学名誉教授

中村 達 (49回)



先生は肝臓外科の偉大な真の開拓者だった。その逸話を2、3述べることで都築先生がどんな人だったかが分かって頂けると思う。

①私の仕事のアイデアは都築先生に頂いた。「肝静脈および下大静脈の外科的解剖」である。ある日、どんな仕事をどの程度進んでいるかという発表会で、皆に「なんだ、ただの計測じゃないか」と指導医である都築先生に非難轟々であった。仕事が出来上がって米国5大外科雑誌の一つ、Surg. Gynecol. Obstet. に投稿すると、投稿後2週目

に、採択するから別口へ投稿するなど手紙が来た。先生曰く、道無き道を拓くには計測とマップが重要だ、と。②肝門部胆管癌の治療において、肝門部の解剖学的特性から尾状葉切除の必要性が大きな問題であった。都築先生がいち早く指摘して論文に書かれた。ある大学の教授は必要ないと主張していたが、そのうち自分が言い始めたみたいにやり始めた。③嘗て米国にワンゲンシュテーエンという外科教授が居た。教授は自分の領域の仕事は自分のアイデアでやり、若いもの

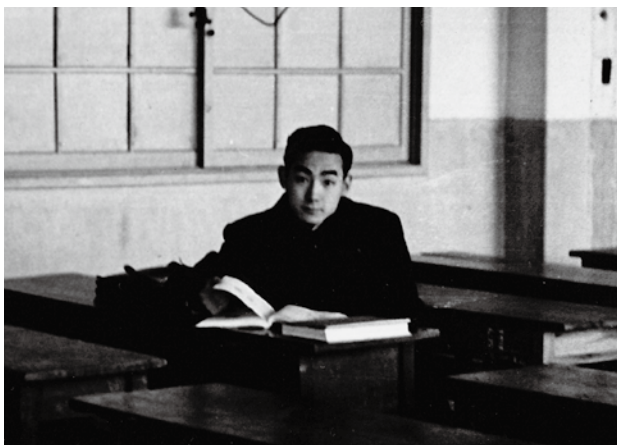
に対しては全く独立させて自由にやらせて支援した。自分の名前は違う領域の論文には載せなかった。全米に30人の外科教授をつくり、大教授と評されるようになった、とよく聞かされた。④浜松に浜松ホトニクスという光を仕事としている会社がある。共同研究をしながら相談すると、「医学の分野に光の研究は少ない。始めたら続けることが大切」と。現在、浜松医大は大学挙げて光の研究を進め、特色の一つとなっている。



▲ 1952 ~ 53年 2年生の頃



▲ 1954年 売り出されてすぐに買ったアサヒフレックスII型。刀林会総会にはいつもニコンを持ってきて写していました。



▲ 1958 ~ 59年 学部1年生 (今でいう3年生) 三鷹の教室で

日吉入学以来、六十有余年のよき友であった。体育会系の多い仲間の中で水泳以外の運動は不得手の唯一人、真面目に授業に出席していた。人付き合いはよく

温厚だが、正義感が強く激しい面もあった。関西などの旅行に誘い同行したが、知識に裏付けされた案内で何時の間にか引率役になった。人柄の良さから男にも女にも持てた男である。父上はNHK交響楽団の高名な打楽器奏者だが、令弟は慈恵医大病理学教授、刀林会先輩の伊藤國彦先生はじめ親戚には医師が多いと聞いた。医師を指しつ

追悼

故小森昭宏先生 (36回) を偲んで

赤坂パークビル脳神経外科
・東京脳ドック 院長

服部 光男 (36回)

つも黙々と音楽の勉強も続いていることは医学部本科に進学した頃に知った。日吉の頃、一緒に欧米映画名作をハシゴで見歩いた。これも九段高校演劇部時代に飯沢匡氏の「崑崙山の人々」を上演した縁から文学座を手伝い、演劇や舞台音楽の勉強のため映画を多く見ると言われたためだった。また、部品を集めてテープレコーダーを組み上げて東通工、後のソニーに持ち込み、井深大氏に感心されるほど知識があり、手先も器用な男であった。作曲が忙しくなって外科学教室を新人出張の前に退職した。小児科作曲家と呼ばれるほど「げんこつ山の狸さん」や「ブーフォーウー」などの童謡が多く、その縁でNHKプロデューサーであった美巳夫人を得て仲間も増えた。「クロネコのタング」編曲は大ヒットして我々まで大いに潤った。同級生戸谷教授が主宰した脳神経外科学会総会、また北島教授主宰の外科学会総会に祝典曲を作曲している。

ある音楽大学では作曲ばかりか保健体育の講義まで受け持たされたが、喜んで資料集めをしていた。学生時代には余り酒を飲まなかったが、仲間が時間的に余り管理職また定年になってからは一緒によく飲んだ。医者仲間、刀林会仲間と飲むのを楽しんだ。最後まで医学に関心を持ち、大好きだった。繰り返しになるが、良き友を失った。寂しい中でただただ冥福を祈るばかりである。



追悼

故吉井宏先生 (53回) を偲んで

済生会神奈川県病院 院長

長島 敦 (64回)



済生会神奈川県病院の現職院長であられた吉井宏先生は、去る2016年7月25日にご逝去されました。2014年12月に下咽頭癌を発症され、一時は治癒したものとご本人もわれわれも安心していたのですが、2016年2月に突然脳転移が出現し、続いて癌性髄膜炎を併発されてしまいました。

先生は1982年にチーフ出張で済生会神奈川県病院に赴任され、その後1990年から1991年まで米国テキサス州ダラス Baylor University Medical Center に肝移植の研究で留学されました。帰国後は外科部長として外科を指導されました。また

学会活動では日本外傷学会・救急医学会を中心とした腹部救急領域で活躍され、とくに腹部外傷に関する超音波診断の論文は、多くの英文雑誌に引用されており、日本外傷学会の臓器損傷分類作成に多大な貢献をされ、2005年には第19回日本外傷学会総会・学術集会を横浜で主催されました。

先生はわれわれ凡人にはまねできない長期的視野をお持ちで、先生の頭脳に付いていくことができないことがとき々ありました。不肖の弟子で申し訳なかったと反省しております。

私は、1991年に済生会神奈川県病院にチーフ出張で赴任してから25年間ご指導いただきました。外科医としてだけでなく人としての成長を導いていただきました。ただただ感謝の気持ちで一杯です。

先生にはこれからも病院運営・地域完結型医療の構築についてご指導、ご助言をいただきたいと思います。おりましたに、甚だ残念であり、失ったものの大きさは計り知れませんが、吉井先生から賜った御恩に厚く御礼申し上げます。吉井先生、ありがとうございました。

近年、欧米のみならず我が国においても食道胃接合部の疾患が増加しております。また食道、胃それぞれの疾患の診断・治療を広く理解して対応できる人材を育成するため2007年4月より食道班と胃班が合流し、上部消化管グループとなり、上部消化管グループは北川教授を含め7名、レジデント11名の大所帯です。

診療体系グループ紹介

一般消化器外科 | 上部消化管班



慶應義塾大学 外科 (一般・消化器)

竹内 裕也 (71回)

北川教授が Japan Clinical Oncology Group 食道がんグループ代表を務められていることもあり、食道癌集学的治療や胸腔鏡手術に関するランダム化比較試験を積極的に参加しております。また先進医療Bとして現在、早期胃癌を対象としたセンチネルリンパ節転移陰性例に対する低侵襲・機能温存手術を評価する多施設臨床試験を進めております。今後も早期癌から進行癌まで様々な新規集学的医療・個別化医療を開発し、世界にそのエビデンスを発信して参ります。

献血ウエノグロブリン IH 5% 静注 5g/100mL・10g/200mL
 Venoglobulin IH 5% i.v. 0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL・5g/100mL・10g/200mL
 特定生物由来製品 (処方箋医薬品) (注意: 医師等の処方箋により使用すること) (薬価標準収載)

血液分画製剤 (血液凝固阻止剤) 500単位 静注用 1500単位
 Neuart i.v. 500units・1500units (賦形) (生物学的製剤基準 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ)
 特定生物由来製品 (処方箋医薬品) (注意: 医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元 (資料請求先) 一般社団法人 日本血液製剤機構 東京都港区浜松町2-4-1
 VGX-NAT (A5 1/2) 2015年5月作成

開業記



本年4月より東急東横線の都立大学駅から徒歩2分の目黒通り沿いに石森脳神経外科を開院させて頂きました、73回生(相当)の石森久嗣です。平成6年の入局依頼 慶應義塾大学医



都立大石森脳神経外科 石森 久嗣 (73回相当)

学部外科学教室の諸先生方、脳神経外科 前教授 河瀬斌先生、現教授 吉田一成先生に、22年間 大まご指導を賜りました。1年 目出張は、済生会宇都宮病院、2年目は大田原赤十字 病院、帰室後は脳腫瘍班として、吉田一成先生にご指導を頂きました。その後のポストチーフでは、済生会 神奈川県病院、済生会宇都宮病院で経験を積ませて頂きました。その後進路を政治の道へ変更し、第45回衆議院総選挙に立候補、各先生方の応援を頂き、国会へ進むこととなりました。国会では厚生労働委員会の理事を務め、2度にわたる診療報酬のプラス改定を達成いたしました。しかし、念願の脳卒中対策基本法の成立を成すことは出来ず、無念でありましたが、1期のみで、退くこととなりました。その後NHO栃木医療センターを経て、今回のクリニック開院の運びとなりました。 当院は、目黒通り沿いの一階に位置しており、1.5T MRI、16列CT、レントゲンDR検査、超音波診断装置をそろえた完全バリアフリーのクリニックです。脳神経外科のみならず、神経内科や内科一般の患者様、救急の患者様も受



▲チェンマイ大学、慶應義塾大学 ワークショップにて

帰室報告

チェンマイ大学留学より帰室して



済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 高橋 辰郎 (81回)

心臓血管外科志水教授に御高配いただき平成27年4月より1年間、タイのチェンマイ大学に留学してきました。平成16年よりチェンマイ大学心臓血管外科と友好関係を築いており、双方の医師、看護師、医療工士が交換留学を経験しています。当方からの臨床留学は私で5人目です。 チェンマイ大学心臓外科は、年間1000件以上の症例数がある施設です。平成16年当初はスタッフ4人、レジデント3人の構成でしたが、現在ではスタッフ5名、レジデント10名(月ごとに3〜4人でローテート)と増え、関連病院を5〜6年前に2施設新設し、さらに3施設を新設予定と、北タイの広範囲の医療圏を網羅しています。 臨床留学が厳しくなる昨今、先輩がたが信頼関係を構築していただいたおかげで、修練が始まった翌週から第1助手として間近で手技を経験できました。1日2件の手術が連日続き、手術のみに没頭する生活が続きました。特に先天性心疾患では、本でしか見たことのない疾患や、その手術手技を実際に目の当たりにし、貴重な経験となりました。 9月から3ヶ月半、関連病院のランパーン病院に赴任しました。ランパーン病院は、開心術を年間650例、加えて、末梢血管、ス Tent (EVAR/TEVAR) はタイで一番の件数)、呼吸器外科手術を4人でこなす施設です。ここでは1日3件の開心術を一部屋で行います。開心術の症例は、リウマチ性弁膜症や狭心症がほとんどでしたが、術者の機会を得ることも多く、久しぶりに呼吸器外科手術にも参加しましたし、毎日が充実していました。 最後になりますが、チェンマイ大学と友好関係を築いていただいた四津前教授、チェンマイ大学から慶應義塾大学病院に研修しに来た時に関わっていたいただいた先生方、看護師の方々に謝辞を伝えたいとともに、今後この友好関係を継続していただきたくお願い申し上げます。

開業記



大塚山田脳神経外科クリニック
院長
山田 素行 (73回)

この度、吉田一成教授をはじめ、刀林会の皆様のご支援を賜り、平成28年5月に、J R 山手線 大塚駅北口徒歩4分の地に、「大塚山田脳神経外科クリニック」(院長 山田素行 73回) (170-0004 豊島区北大塚2-10-5 北大塚BMAビル3階 03-5961-0533) を開業することができました。皆様本当にありがとうございました。ごさいいます。



様々な疾患の早期の発見・治療・予防に努めております。MRI・CTは、他施設からの画像検査依頼にも対応しておりますので、何なりとご用命下さい。

めには活かすことであります。また、私は勤務医時代、NSTをはじめ、栄養関連の各種活動・学会事業にも参加させて頂く経験も得、その場でも刀林会、三四会、三田会等、多くの方にお世話になり、総合的な医療の知見を得ることもできました。様々な分野の塾員の方のお世話になったことで、専門医も総合医も両方大切であり、その真ん中に何かがあるかもしれない、とも思えるようになりました。このクリニックがそのスタイルを表現できる場になれば、慶應義塾に恩返しできると考えています。



3年間にわたり、マサチューセッツ総合病院(MGH)の放射線腫瘍学Edwin L Steeghs研究室でトランスレーショナル研究に携わる機会をいただきました。滞在中のポストンは、レッドソックス優勝、ペイトリオッツ優勝、史上最大の年間降雪量等々、日々の研究室を主導するRakeani

帰国報告

マサチューセッツ総合病院より
帰室して



羽藤 泰 (80回)

Steeghs教授は、腫瘍の微小環境研究の大家で、腫瘍血管・リンパ管新生、腫瘍血管の数理モデル、腫瘍の固形ストレスなどに膨大な業績をもち、2016年にはホワイトハウスに招かれオバマ大統領からMedicine of Scienceを授与されました。ワールドクラスの研究室に飛び込んで、一線級の研究者とがっぷり四つで勝負するのは

伴う新しい動物モデルを多数作成し、フローサイトメトリーをフル活用して多くの共同研究と論文執筆機会を得ました。多数の多国籍の友人に恵まれ、3年目にラボの「名誉市民」アワードを頂いたのは最高の思い出です。診療部門との共同研究にも参加しました。指導いただいたDan Duda博士は特にこの点で優れており、どうすれば臨床腫瘍医と基礎研究がいかにかシナジーを生み出せるかを濃厚に学ぶ機会を得ました。MGHは臨床と研究の垣根が非常に低く、臨床医のアカデミックマインドの懐の深さは圧巻でした。ただ漫然と手術だけをしているのではアカデミアとして失格だと痛感しました。最後になりましたが、留学にあたって多大なご助力を賜りました泉陽太郎先生、河野光智先生、落合大樹先生、尾池雄一教授(熊大)、末松誠教授、小林紘一元教授をはじめ刀林会の諸先生方に心より感謝申し上げます。

貴重な経験でした。現在の米国の癌研究は、免疫療法に傾倒しており、私も多様な固形癌のモデルで(生憎肺癌以外ばかりでしたが)、癌の微小環境の正常化が抗腫瘍免疫をいかに腑活するかをテーマに研究しました。外科医のメリットを活かして侵襲を

外科学教室
新入室者紹介



慶應義塾大学
政井 恭兵
(85回相当)



荻窪病院
小澤 広輝
(92回相当)

出身高校…池田学園池田高等学校(鹿児島)
出身大学…大分大学
クラブ・趣味…ソフトボール部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂いたいただきました92回生相当の小澤広輝と申します。後期研修で済生会宇都宮病院にて2年研修の後、現在、荻窪病院にて研修をさせて頂いておられます。多くのことを学び精進して参りたいと存じます。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

出身高校…筑波大学附属
出身大学…慶應義塾大学
クラブ・趣味…野球部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室へ入局させて頂きました医師7年目の泉田博彬と申します。去年までは救急医でしたが、一念発起し、入局させて頂きました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



済生会中央病院
泉田 博彬
(89回)

出身高校…筑波大学附属
出身大学…慶應義塾大学
クラブ・趣味…野球部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室へ入局させて頂きました医師7年目の泉田博彬と申します。去年までは救急医でしたが、一念発起し、入局させて頂きました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

93 回生



伊勢原協同病院

佐々木 健人

出身高校：慶應義塾
志木高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：乗っ・スケート部



練馬総合病院

大野 昌利

出身高校：海城高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：サッカー部



浜松赤十字病院

金森 洋樹

出身高校：東海高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：サッカー部



国際親善総合病院

林 航輝

出身高校：開成高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：乗っ・硬式庭球部



多摩丘陵病院

阿部 紘大

出身高校：開成高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：乗っ・ラグビー部



東京都済生会中央病院

松井 一晃

出身高校：慶應義塾高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：水泳部



公立福生病院

門野 政義

出身高校：灘高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：ラグビー部



日本鋼管病院

金原 左京
(93 回相当)

出身高校：慶應義塾高等学校
出身大学：福井大学
クラブ：趣味：剣道部

この度、慶應義塾大学医学部
外科科学教室に入室させて
頂きました93回生の佐々木
健人と申します。

済生会宇都宮病院で初期
研修を行い、現在伊勢原協
同病院にて後期研修をさせ
て頂いております。

この伝統ある慶應外科教
室で修練を積めることに誇
りを持ち、一步一步成長で
きますよう努力を重ねてい
く所存です。今後とも御指
導御鞭撻の程よろしくお願
い申し上げます。

この度、慶應義塾大学外
科学教室に入室させていた
だきました93回生の
大野昌利と申します。済生会宇
宮病院で初期研修を行い、
現在練馬総合病院にて後期
研修をさせて頂いておりま
す。伝統ある当教室で日々
鍛錬を積み、一人でも多く
の患者の救いとなれるよう
精進して参りたいと存じま
す。今後ともご指導ご鞭撻
の程よろしくお願いたします。

この度慶應義塾大学外科
学教室に入室させて頂きま
した93回生の金森洋樹で
ございます。栃木県済生会宇
都宮病院での初期研修を
経て、今年度より浜松赤十字
病院で後期研修をさせて頂
いております。諸先輩方よ
り温かいご指導を賜われ
るだけでなく、伝統ある慶
應外科科学教室で学ばせて
頂いております。若輩者では
ございますが、日々精進し
て参りますので今後ともご
指導ご鞭撻のほど何卒よろ
しくお願致します。

この度、慶應義塾大学外科
学教室に入室させて頂きま
した93回生の北濱圭一郎
でございます。現在、
永寿総合病院で毎日充実し
た研修生活を送らせて頂
いております。至らぬ点が多
いかと存じますが今後とも
御指導御鞭撻の程よろしく
お願致します。



済生会宇都宮病院

金山 拓亮
(92 回相当)

出身高校：浦和高校
出身大学：順天堂大学
クラブ：乗っ・サッカー部・音
楽鑑賞
順天堂大学出身の金山拓
亮(かねやま ひろあき)です。
普段は控えめな性格です
が、慶應外科科学教室に入局
させて頂いたからには、が
むしやらに働いていきたい
と思いますのでよろしくお
願致します。



永寿総合病院

北濱 圭一郎

出身高校：慶應義塾高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：乗っ・野球部



埼玉病院

中村 麻里子

出身高校：桜蔭高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：乗っ・医学部端艇部・
旅行

この度、慶應義塾大学医
学部外科科学教室に入室さ
せて頂きました93回生の
中村麻里子と申します。現
在、国立病院機構埼玉病院
にて研修をさせて頂いて
おります。大学入学前よ
り目指していた、乳腺外科
医になる、という夢に向
かって、新たな一歩を踏み
出したことを嬉しく思っ
ております。
至らぬ点も多いかと存じ
ますが、ご指導ご鞭撻のほ
ど、何卒よろしくお願
致します。

この度、慶應義塾大学医
学部外科科学教室に入局さ
せて頂きました93回生の松
井一晃と申します。
東京都済生会中央病院で
外科医としての1年目をス
タートし、日々諸先輩方か
ら温かいご指導を賜って
おります。
常に患者に寄り添った診
療が出来るよう、精一杯精
進して参りますので、今後
ともご指導ご鞭撻の程宜し
くお願申し上げます。

この度、慶應義塾大学医
学部外科科学教室に入室さ
せて頂きました93回生の門
野政義と申します。足利赤
十字病院での初期臨床研修
を終了し、現在公立福生病
院にて後期研修をさせて頂
いております。
日々努力を重ねていく所
存でございますので、ご指
導ご鞭撻のほどよろしくお
願申し上げます。



川崎市立川崎病院

菊池 直哉
(93 回相当)

出身高校：都立両国高等学校
出身大学：日本大学
クラブ：乗っ・ゴルフ部

この度、慶應義塾大学外
科学教室に入室させて頂
きました93回生の菊池
直哉と申します。済生会横
浜市東部病院で初期研修
を行い、現在川崎市立川崎
病院にて後期研修をさせ
て頂いております。
まだまだ右も左も分
からない若輩者ですが、精
一杯努力し、この伝統ある
慶應外科科学教室で精進
して参りたいと存じます。
今後とも御指導御鞭撻
の程、宜しくお願
致します。



慶應義塾大学

大村 征司
(93 回相当)

出身高校：金沢大学附属
高等学校
出身大学：東北大学
クラブ：櫂・野球部

東北大学出身、93 回生相
当の大村征司と申します。
横浜市立市民病院で初期研
修を終え、慶應義塾大学外
科学教室に今年度より入局
させていただきました。
右も左もわからない状況
でありますが、ご指導ご鞭
撻の程何卒よろしくお願
い申し上げます。



北里研究所病院

鈴木 幹人
(93 回相当)

出身高校：東海高校
出身大学：岐阜大学
クラブ：趣味：ハンドボール部

この度、慶應義塾大学医
学部外科学教室に入室さ
せていただきました93 回生相
当の鈴木幹人と申します。
現在は北里大学 北里研究
所病院で研修をさせていた
だいております。
少しでも早く外科医とし
て成長できるよう日々全力
で精進してまいります。御
指導御鞭撻の程宜しくお願
いいたします。

刀林会入会



公立福生病院

星川 竜彦

この度は伝統ある刀林
会に入会させて頂きまし
て、ありがとうございます。
1997 年に東海大を卒業
後、幕内教授の第二外科に
入局し、主に慶応の関連病
院に勤務して参りました。
これからもより一層努力す
る所存です。



国立埼玉病院

田中 規幹

2016 年 3 月より、国
立埼玉病院 乳腺外科でお
世話になっております。田中
規幹と申します。平成 7 年
宮崎大学卒業後、岡山大学
旧第二外科で研修を行いま
した。今後は、当センター
の確立を目指して参りま
す。今後ともご指導ご鞭撻
のほどを宜しくお願
い申し上げます。



帝京大学外科学講座

上原 浩文

帝京大学外科学講座 呼
吸器外科の上原浩文(H9
卒)と申します。川村雅文
教授にお声掛け頂き、がん
研有明病院より赴任いたし
ました。伝統ある刀林会に
入会させて頂き、光栄に思
います。今後ともよろしく
お願いいたします。



済生会中央病院

鎌田 嗣正

この度、刀林会に入会さ
せていただきました鎌田嗣
正と申します。初期・後期
研修を名古屋大学の関連病
院で行った後、国立がんセ
ンターのレジデントとな
り、そこで浅村先生の御指
導を賜りました。今後とも
御指導御鞭撻のほど宜しく
お願い申し上げます。



静岡赤十字病院

熱田 幸司

この度、伝統ある慶應義
塾大学医学部 外科同窓
会・刀林会へ入会させてい
ただき、諸先生方に大変感
謝いたしております。誠に
ありがとうございます。未
熟者ではございますが、ご
指導のほどよろしくお願
い申し上げます。



国立埼玉病院

石田 文孝

この度は歴史ある刀林会
の一員に加えていただき、
誠にありがとうございます。
会の発展のため、もと
より微力ではございますが
尽力したいと存じます。皆
様におかれましては、今後
ともご指導ご鞭撻のほど何
卒よろしくお願
い申し上げます。

近況報告

80 回生



済生会横浜市東部病院

半田 寛

80 回生の半田寛と申しま
す。米国ピッツバーグでの

3 年間の研究留学を終え、
2015 年 4 月に帰国し既
に一年半が経ちました。留
学では iPS 細胞からの肝
細胞分化についての研究を
行ってきました。現在は済
生会横浜市東部病院で勤務
させて頂いており、目下の
目標であります肝胆膵高度
技術認定の取得に向けて、
日々精進しております。



服部外科胃腸科医院

服部 俊昭

平成 23 年 4 月に外科学教

室の人事を離れ、私の実家
で父が院長を務める服部外
科胃腸科医院(埼玉県さい
たま市)の一員として開業
医の立場をスタートしまし
た。当院は昭和 45 年開院で、
現在も院長を慕い長年通院
されている患者が多く存在
します。血管班で学んだ知
識や経験を地域医療へ貢献
できるよう日々努力してお
ります。



秋山脳神経外科内科病院

秋山 武和

横浜市港南区で秋山脳神

経外科内科病院の副院長を
しています。41 床の脳卒中
急性期病院です。ステント
リトリバーによる急性期
脳梗塞に対する経皮的脳血
栓回収術に力を入れていま
す。来年、SCU、3 テス
ラ MRI、バイプレイン血
管撮影装置、急性期リハビ
リテーションを備えた脳卒
中センターをオープンする
予定です。



羽藤 泰

昨夏、米国より帰国しま
した。現在は諸般の事情で
呼吸器外科を一時的にお休
みさせて頂いたが、多摩の
地域医療の仕事をしていま
す。病院外での医療は制約
が多いなかでの診療で、一
種独特の難しさがありま
す。妻、長女、次女の 4 人
家族で、平和な毎日です。



